



福谷章子のまちづくり通信

2012年11月号(平成24年11月1日発行)
〒266-0031 千葉市緑区おゆみ野3丁目40-8 河野ビル213号
e-mail: fukutani2903@gmail.com
T 047: <http://fukutani.blog.ocn.ne.jp>

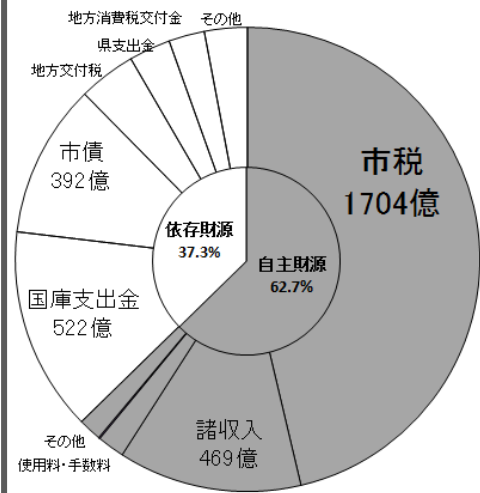
編集・発行 千葉市議会議員 福谷章子(未来創造ちば)
tel&fax 043-312-2903
ホームページ: <http://fukutani-office.com>
ツイッター: <http://twitter.com/shoukosan>

千葉市の財政状況はどうなっているの？

今議会(9月7日~10月3日)は決算議会でした。千葉市では平成21年10月に“脱!財政危機宣言”を発し、市民のみなさんとともに立て直しに取り組んだ結果、少しずつですが**財政状況は改善しています**。少子超高齢社会を迎え、医療費の増加や生産年齢人口割合の減少など、新たな課題も抱えるなか、市債を減らし、自助共助の市民力を高めるための取り組みをし、未来を見据えた財政運営がなされていると判断して、平成23年度の決算を認定しました。

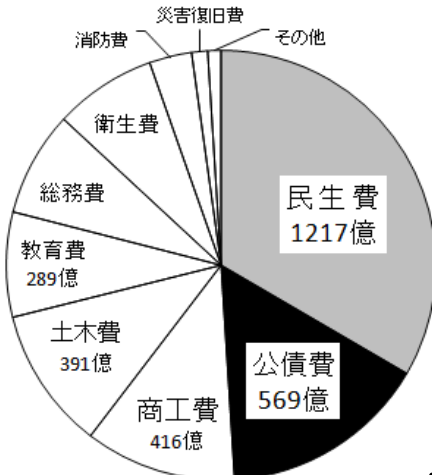
千葉市の収入源は？

歳入総額 3680 億円。内訳は、下のグラフのようになっていて、国や借金に頼らない自主財源(たとえば市民の税金 1704 億円や広告料などの諸収入 469 億円など)は、決算額の 62.7% を占めています。これは、政令市の中でも高いほうです。つまり、千葉市は堅実な財政運営をすることで、市民主体の独自の市政運営ができるはずなのです。



それをどんなふうに使っているの？

歳出総額は 3650 億円。民生費(国民健康保険事業への繰り出しや生活保護費、子ども手当支給)が 3 分の 1 を占め、次に高い割合を占めているのが**公債費**(借金返済)です。商工費は主に中小企業への資金融資です。



気になる借金残高と社会状況

23 年度は不要不急な事業を抑え、受益者負担の見直しなどを行ったことにより、市債残高は、一般会計では 7316 億円から 7259 億円へと 57 億円減少し、全会計では 1 兆 815 億円から 1 兆 685 億円へと 130 億円の減となり、財政健全化への取り組み成果が表れ始めました。一方で、国民健康保険の累積赤字は 117 億 9800 万円となり、生活保護費も 200 億円を超えています。

問われる公費負担のあり方

雇用形態や人口構成の今後の変化を考えると、先行きに不安を感じます。今後は、公が負担をすべきこと(公助)、地域が協力し合うこと(共助)、市民一人一人がすべきこと(自助)を、見極めていくことが大切です。まずは、わたしたち一人一人に何ができるか、そして 1 人ではできないことを地域で助け合い、地域ではできないことを公(自治体や国)が行うという社会構造に転換させていくことが求められています。市民の活動への理解とサポート体制の再構築をこれからの行政に期待します。

では、市民一人一人や地域が力を発揮するためには、どんな環境が必要でしょうか。その必要な要素とは、**人・資金・情報**であると考えます。それらを充実させるための仕組み作りを提案してきましたが一歩ずつ取り組みが進み始めました。

共助に必要な 3 要素

■人づくり・協働事業と円卓会議

緑区では、手あげをした自主企画に 3 年間を限度にサポートし、活動や担い手を育てる“まち育て事業”を行っています。また、いくつかの地域で円卓会議の取り組みが行われ(市内では 4 地域)、地域の絆を紡ぐ人材の発見や、地域づくりの担い手が誕生しています。

■資金づくり・補助金改革

23 年度から、補助金の見える化を図り、今年度は補助金のあり方を見直します。団体への補助金は、支出されてもその内容や効果の検証方法が確立されていません。そこで、新たに必要とされる事業に市民が取り組めるよう、補助のあり方を見直すことを提案しています。また、これまで行政が行ってきた事業を市民にゆだねる協働提案事業への挑戦も始まっています。

■情報づくり・オープンデータ

市民が活動したり、起業したり、あるいは民間企業の活動を活発にするためにも、正確な情報が重要です。特に行政は膨大な情報を保有しています。それらは市民の税金で集めた市民の情報ですが、公開されているのは一部にしかすぎません。そこで、「行政情報は基本公開すべし」と提案しました。行政情報を市民や民間が活用できる形で公開することを“オープンデータ”と言いますが、千葉市もその取り組みを始めることになりました。

議会報告と意見交換の会

11月11日(日)10時~12時
みんなの広場(緑区おゆみ野3-40-8河野ビル1F)
議会や市政の報告をしながらの意見交換会をしたいと思います。是非ともお出かけ下さい。

福谷章子 活動報告

9月議会では代表質疑に立ちました。詳細は、ホームページ または事務所にお問い合わせください。
http://gikaimovie.city.chiba.jp/12_3/0919_02.html

議会での活動

●議会のあり方検討協議会第一部会の副会長を務め、千葉市議会議員の1年間の活動実態調査をし、7人の活動をモデル化しました。それを根拠とし、地方議会のあり方、地方議員がなすべきこと、国会議員との違いなどを明らかにし、身分を含めてあるべき姿を理論化しています。

●議会の ICT 化戦略会議が発足し、代表となりました。議会の ICT 化とは、1) 議会事務の効率化 2) 議員間会派間の情報のユニバーサル化 3) 市民と議会との情報発信によるコミットメントの深化 を目指すものと考えています。

議会のあり方検討協議会や広報部会などと連携しながら、開かれた議会を目指していきます。

地域情報

●避難所運営委員会の現状は？

自治会に結成を投げかけた避難所運営委員会。緑区では、現在すべての町内自治会連絡協議会(土気・椎名・誉田・おゆみ野の4地区)への説明が終わり、6か所の避難所について、具体的に準備会が行われました。今後は11月に大椎小学校とあすみが丘プラザに、12月に土気高等学校において運営委員会の初会合が行われる予定とのことです。ただし、避難所運営委員会が万能なわけではありません。いざという時のためには、1人1人が1週間分の食料を準備する、周辺の安全と思われる場所を把握しておくなどの自助の備えが何よりも必要です。

●「ライトポート緑」が土気小学校に

学校に行きづらいけれど、学校に通いたいという主に中学生のために千葉市ではライトポートを設置しています。昨年10月に市内では5か所目として、土気小学校に設置されました。現在10名の子どもたちが学んでいます。また、教育センターでも不登校の相談を受けています。☎043-255-3702

●おゆみ野南小学校に防災井戸

平成24年度当初予算で、おゆみ野南小学校に防災井戸の設置(2400万円)が予定されていました。入札が成立し、今年度中に完成します。

●子ども・若者総合相談センターLink(リンク)

中学卒業後の就学や就労に関することや、ノートやひきこもりの相談など、躊躇せず活用しましょう。相談内容に応じて、適切な専門機関の紹介や情報の提供・助言及び関係機関への橋渡しなどを行い、問題の解決に向けて継続的に支援します。

☎050-3775-7007